

～牛の個体識別情報の閲覧開始～

新潟県農林水産部畜産課

はじめに

平成13年から開始された家畜個体識別システムの構築も、牛の一斉耳標装着及び個体情報の入力を終了し、平成14年10月1日からはインターネット等で牛の個体情報を閲覧できるようになりました。

個体情報を維持、管理するには牛飼養農家の皆さんからの日々の報告が不可欠です。しかし、残念ながら報告された個体情報に誤りが多く、運用上、多方面で支障をきたしています。

家畜個体識別システムの的確な運用により、伝染病発生時の個体追跡、生産情報の提供及び農家における個体確認の簡素化が可能となります。これらを実現するためにも、正しい情報の報告と、家畜保健衛生所からの個体情報の確認調査にご協力をお願いします。

1 正しい情報の報告

(1) 報告の種類

ア 出生報告

出生後、速やかに耳標を装着した上、3日以内に報告を行ってください。

イ 異動報告

飼養する牛が異動（転入、転出、死亡）した場合、報告を行ってください。

(2) 報告の方法

FAX、電話及びインターネットによる報告方法があります。電話及びインターネットによる報告の方が確実ですが、利便性からFAXによる報告が多く、これが問題多発の原因にもなっています。

(3) 報告に関する注意事項

ア 出生・異動の報告はしましたか？

出生・異動報告がされないと、データベースに情報が入力されないばかりか、後に報告された他の情報も入力されません。また、皆さんの在庫耳標は減っていないと認識されるため、新たな耳標が送付されません。さらに家畜市場などでは情報が入力されていない牛がいると円滑な取引ができません。

→ 未報告に気付いたら、速やかに報告して下さい。

イ 報告事項の記入ミス・漏れはありませんか？

存在しないあるいは重複した個体識別番号の記入、異動月日に未来の日を記入していないか、記入漏れがないか確認しましょう。

→ 間違いに気付いたら、報告したカードの訂正箇所を訂正線を引き、その上に訂正内容を記入し、備考欄に「〇〇修正」と記入して再度FAXで報告して下さい。

ウ FAXの送信方法は間違っていますか？
報告用紙の表裏を逆に送信したり、送信後に記入ミスに気付いて書き直して再送信してしまう等の誤った送信が多発しています。

→ 送信されたか確認するため、一般アクセス用データベースにアクセスして、報告した情報が入力されていないか定期的にチェックしましょう。

2 個体情報の確認調査

現在、家畜保健衛生所が個体情報の確認調査を実施しています。入力済みの牛の個体情報について再確認を行い、性別等入力データの誤りについてはとりまとめの上、家畜個体識別センターへ修正依頼しています。積極的な協力をお願いします。

報告先

FAX番号：0037-80-2525
電話番号：0037-80-1777
インターネット報告システムアドレス
<http://www.id.nlbc.go.jp/>

一般アクセス用データベースアドレス
<http://www.lin.go.jp/>



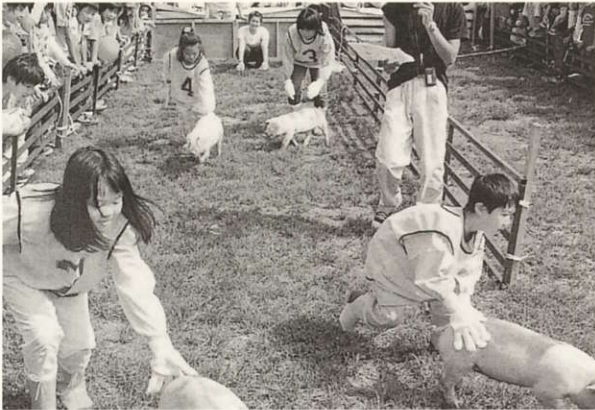
地元の味に舌鼓 ふれあい畜産フェスタ

県畜産振興協議会と県畜産研究センターの共催による「ふれあい畜産フェスタ2002～研究センター開放デー～」が去る10月5日(土)、南蒲原郡下田村の畜産研究センターで開催されました。

会場には親子連れなど約1,800人が来場し、県内産新鮮畜産物や手作りアイスクリームなどを買い求め、子牛、子豚、山羊等の家畜とのふれあいや「子豚レース大会」、「クイズウォークラリー」等の楽しいイベントで盛り上がりました。

にいがた牛芋煮コーナーでは芋煮が無料で振る舞われましたが、配布前から長い列ができ、準備していた500人分の大鍋はあっという間に空っぽに。食した人々からは「肉がやわらかくて美味しい」、「県産などで安心して食べられる」という声が聞こえていました。

目玉イベントのひとつである「子豚レース大会」は、ちびっ子ジョッキーが子豚を追いかけてゴールを目指すというもの。あちこち逃げ回り、まっすぐに走らない子豚を一生懸命追いかける子供達の姿が会場の笑いを誘っていました。



子豚のレース

第4回 協同組合まつり

10月13日(日)、新潟市産業振興センターにおいて第4回協同組合まつりが開催されました。当日は9,000人を越えるお客さんが来場し、大変な賑わいでありました。



本協会では、昨年に引き続き『環境と調和した畜産をめざして』をテーマにして、畜産環境保全への取り組みと堆肥利用促進のパネル展示を行いました。

また、食肉の安全性・栄養価等について正しく理解してもらうための畜産クイズを実施しました。多くの人に参加してもらい盛況のうちに幕を閉じることができました。



環境保全指導マニュアル(改訂版)説明会

11月21日(木)、新潟市ハミングプラザVIPにて、『畜産環境保全指導マニュアル(改訂版)説明会』を開催しました。県、市町村、農協、関係団体の担当者45名の出席がありました。

以前に中央畜産会が発行した同マニュアル(初版)をより一層充実させるため、畜産環境保全に携わる関係者からの質問・意見を取り入れて拡充するとともに、利活用の面も考慮し再構成を行い改訂版として取りまとめたものです。

まず、県の畜産環境担当者より、県内の畜産環境対策の現状についての説明があり(下表参照)、続いて本協会担当者よりマニュアル及び堆肥化処理施設設計計算の方法を説明しました。

家畜排せつ物の処理状況(14年11月現在)

(単位:戸、%)

区分	飼養戸数	不適正処理対象		不適が主	
			割合		割合
乳用牛	447	166	37.1	122	27.3
肉用牛	519	34	6.6	19	3.7
豚	236	31	13.1	20	8.5
採卵鶏	41	4	9.8	1	2.4
肉用鶏	13	0	0.0	0	0.0
計	1,256	235	18.7	162	12.9

尚、このマニュアルは、中央畜産会にて1部1,500円で販売しています。付録として、『畜産環境保全指導実態調査・分析システム(CD)』が付いており、必要数値を入力するだけで、測定・分析の評価、堆肥化施設の規模算定、汚水処理施設の能力確認などができるシステムとなっています。

ご購入希望の方は、中央畜産会または新潟県畜産協会までご連絡下さい。

お申し込み先

(社) 中央畜産会 事業第一統括部
TEL:03-3581-6685 FAX:03-5511-8205

(社) 新潟県畜産協会 支援業務課
TEL:025-234-6781 FAX:025-234-7045